

9月1日(月)

キリストのからだ

今日の方

2025年9月1日 ~ 9月7日

翻訳 岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

聖書朗読 コリント人への手紙第一 12:27~31

あなたがたはキリストのからだであって、ひとりひとは各器官なのです。

コリント I 12:27

最近、チェコ共和国へ旅行して、何人かの素晴らしいキリスト者に会いました。首都プラハで最後の礼拝をお献げしていた時のことです。私たちはチェコ語でモゴモゴ言いながら賛美しようとしていました。ところが、聞き慣れた教会讃美歌のメロディが私たちの心に火をつけ、私たちは心からの賛美に加わりました。

よちよち歩きの幼児から年配者まで、みな輪になって座り、聖書のメッセージを聞きました。まずドイツ語で語られたのが、チェコ語に通訳され、さらに英語に訳されました。主の晩餐とともにパンを裂きながら、福音が文化・年齢・言語のギャップを越えることに驚嘆しました。

人生でどこに行くことになったとしても、キリストのからだにあって、私たちはみなひとつです！

私たちは霊において一つです 私たちは主において一つです

そして私たちはすべての一致がいつの日か回復されることを祈ります

そして彼らは私たちがクリスチャンであることを知るでしょう

私たちの愛によって 私たちの愛によって

そう彼らは私たちがクリスチャンであることを知るでしょう

私たちの愛によって

—ピーター・ショルテス*作曲

(*訳注：アメリカの教区司祭・聖歌指揮者。1938-2009)

讃美歌 191 いともとうとき 主はくだりて

祈り お父様、あなたを称えます。キリストのみからだにあって、私たちをあなたの子どもとしてくださいました。イエス様、ふたりでも三人でも、あなたの名において集まる所に、あなたもいてくださることを感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / ジョアン・ロング

9月2日（火）

レーススタート！

聖書朗読 エペソ人への手紙 2：1～10

私は、主の恵みと、主の奇しいみわざをほめ歌おう。

イザヤ 63：7a

米国国勢調査局の全米地域調査によると、アメリカの通勤者は毎日、平均片道24.3分かけて通勤しているそうです。年間では合計100時間以上になります。

私はいつでもイエス・キリストの弟子としてホンダ車に乗り込みます。生活のあらゆる場面で主のご支配を反映したいと思うなら、運転の仕方も考えた方がよいでしょう。確か6年前の新年の決意で、私はクラクションをしつこく鳴らすのを止めることにしました。最近ではそれに関して結構良くやっているとご報告できるのを嬉しく思います。

最近読んだドライバーへの霊的アドバイスには、他のドライバーに寛大で親切にすること、我が物顔で運転しないこと、弱い立場にある人たちを守ること、などがありました。このようなキリスト者の態度はカリフォルニア州の運転免許試験にはありません。

クリスチャン生活の目標がキリストの御姿に近づくことであるとしたら、私たちは、ダラス・ウィラード*が言うように“その目的のために、体系的かつ漸進的に自らの諸事を整える”必要があります。（*訳注：アメリカの哲学者。1935-2013）それにはもちろん、毎日の運転中に出くわす出来事に私たちがどのようにふるまうかも含まれます。皆さん、レースが始まります。でも、他の人たちへの親切と思いやりを忘れないでくださいね。

讃美歌 492 神のめぐみは いとたかし

祈り お父様、自分本位の運転を悔い改めます。通勤通学の際、私たちの心を制御してください。生活のあらゆる場面であなたを表すことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 オークパーク / アンディ・ウォール



9月3日（水）

パパみたいになりたい

聖書朗読 エペソ人への手紙 5：1～10

愛する者よ。悪を見ならわないうで、善を見ならいなさい。善を行なう者は神から出た者であり、悪を行なう者は神を見たことのない者です。ヨハネⅢ 11

小さい時からずっと父親のようにになりたいと思い続けてきました。毎日、父の一挙手一投足に目が釘付けでした。父は髪の毛をとかず時、右分けにしました。それで、私も右分けにしました。父は歩く時、片手をポケットに入れ、反対側の腕を振っていました。私も同じような歩き方をしました。父親が大好きで憧れていたので、ますます父のようにになりたいとの想いが募りました。

今日の聖書箇所は、愛されている子どもらしく、天の父なる神様にならう者となるようにと教えています。どのようにしたらよいかということまで詳しく書かれています。パウロの指示は明確です。はっきりしていないとしたら、それは、なぜ私たちはこのようにして神様にならう者にならなければならないかという点でしょう。

私たちの心の中には、神様に従おうとするあらゆる動機が渦巻いています。神様をがっかりさせたくないから。神様に感謝しているから。神様の御怒りを恐れるから。他にも動機があるのでしょうか。神様が望んでおられることはおそらく、私たちが神様を非常に愛するがゆえに、神様以外の誰かにならいたいとは思わないということではないのでしょうか。ご自分の子どもたちが神様を愛しほめたたえるあまり、どうしても神様のあらゆるみわざを真似したくなくなってしまうことを望んでいらっしゃるのかもしれませんが。

讃美歌 326 ひかりにあゆめよ

祈り 神様、あなたにはどんな汚れもなく、ただ義と真だけがあります。私たちの愛を増し、あなたにならう者としてください。、イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

ノースカロライナ州 ダーラム / パトリック・メッサー

9月4日（木）

私たちを守ってくれる平安

聖書朗読 ピリピ人への手紙 4:6~7

そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。
ピリピ 4:7

数年前のことです。私は姉が手術を受けている間、病院の待合室を歩き回っていました。いくら歩き回っても心配しても事態を変えることはできなかったのですが、とにかくじっとしていられませんでした。『何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。』というパウロの言葉が心に浮かびました。

私は座って、目を閉じ、祈りました。「主よ、私にはどうすることもできません。でも、あなたを信じています。」恐れを主に明け渡すうちに、だんだん不安が薄れ静かな平安を感じられるようになりました。手術の結果が良かったからではありません。すべてを御手のうちにおさめておられるお方を知っていたからです。

神様の平安は状況に左右されません。神様の平安は、私たちはひとりではない、神様がともにいてくださるということをおぼえ、心と思いを守ってくれます。私たちが心配事を神様のところに持って行けば、神様は私たちと親しく会ってくださり、神様に信頼し、神様にあって安らぐ力を与えてくださいます。

今日、あなたは何を思い煩っていますか。祈りのうちに神様の御前に置きましょう。嵐の真っ只中にあっても、神様の平安はあなたの心を守ってくれると信じましょう。

讃美歌 520 しずけき河のきしべを

祈り 主よ、人のすべての考えにまさる平安をありがとうございます。心配事があってもあなたに信頼し、あなたのお守りのうちに安らぐことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。



フロリダ州 デスティン / サラ・クラーク

9月5日（金）

どんなことでもできる力

聖書朗読 ピリピ人への手紙 4:13

私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。
ピリピ 4:13

《一部組み立てて、自分だけのオリジナルを作ろう》で有名な店から家具を買って来て、初めて組み立てようとした時のことを今でも覚えています。自信満々の態度と経験ゼロで、床いっぱい部品を並べ、「任せておけ！」と宣言しました。時間を早送りして、1時間後、私は組み立て途中の木の板と、どこから出てきたのかさえわからない余分なネジとに囲まれ、深い後悔の念に沈んでいました。その時、ようやく取扱説明書を見ました。

人生において、私たちは、真の力がどこから来るのかを忘れて、自分たちで困難を突破しようとするのがよくあります。ピリピ 4:13 のパウロの言葉は、私たちが自力でできると言っているのではなく、キリストが私たちを通してどんなことでもできると言っているのです。難しいテストや仕事上のややこしいプロジェクトに立ち向かう時、あるいは何もかもうまく行かないような日を何とか乗り切ろうとする時、私たちはイエス様の御力に頼って自分を保つことができます。

今度、あなたが取説なしに人生の部品を組み立てようとしているみたいだと感じたら、思い出してください。あなたは一人ではありません。自分だけでみんなやらなくてもよいのです。大きな困難、小さなトラブル、何でもすべてに、神様は御力を与えてくださいます。

讃美歌 448 みめぐみを身にうくれば

祈り 主よ、私の力の源であってくださって、ありがとうございます。人生が手に負えないと感じられる時ばかりではなく、あらゆる瞬間に、あなたに信頼することができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

コロラド州 デンバー / デレック・ポーター

9月6日（土）

見逃さないで！

聖書朗読 ヘブル人への手紙 10：19～26

約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。
ヘブル 10：23

私の両親は、テキサスの平原地帯に居を構え、力を合わせて綿花栽培をし、7人家族を育てました。仕事はきつかったけれども、何があっても屈せずやり通すためのモチベーションとインスピレーションを与えてくださる神様に心から信頼していました。

晩年、街に引越して、それまでは日照りの時の雨や、豊作、子どもたちが巣立った時の導きを祈っていたのが、身体のあちこちの不調で必要になった援助を受けるためにはどこに住んだら良いかを判断する知恵を求める祈りになりました。母は変化に適応する能力に長けていましたが、それは聖書に基づいていました。よく言っていました。「イスラエル人のことを考えてごらんください。神様は決して彼らをお見捨てにならなかったし、私たちのこともお見捨てにならなかったわ。今になって、お見捨てになるなんてことはないから。」

母は、私が読み聞かせる聖書の中の偉大な信仰の話に耳を傾けて、父の死や自分の身体的・精神的な衰えを耐え忍びました。私に現実を直視する方法を教えようとして、彼女はこう言いました。「苦しめないといいんだけど、でも苦しんだとしても、神様はご自身の真実を示すために、あなたのために働いてくださるでしょう。」

母は変化と人生の晩年にあっても、私たちが神様の良いみわざを見逃さないようにと望んでいました。神様のみわざを捜し出し、私たちに指摘しては、言います。「見逃さないで。」

讃美歌第二編 191 主のまことはくしきかな

祈り 主よ、あなたにもっとより頼みたいと思います。思いがけないことが起きた時、信仰の言葉を語り、讃美歌を歌い、信仰を築くみことばを読むことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 シャロウォーター / ジル M・モウディ

9月7日（日）

思い煩いをゆだねる

聖書朗読 ペテロの手紙第一 5：7

あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。
ペテロ I 5：7

息子がまだ幼かったある夏のことです。彼はバケツに水を汲んで一生懸命、庭を歩いて運びようとしていました。犬に水浴びさせてやろうとしていたのです。バケツは重く、息子の小さい手ではこぼさず持っていることもできないのに、彼はひとりでやろうと決めていました。お兄ちゃんがすぐに助けに来てくれて、二人で仕事を終えることができました。

私たちが人生の重荷を自分で運びようとするのがどれだけあるのでしょうか。私たちはつまずき、もがき、不安の重さに押しつぶされそうになります。でも、神様は優しくこう招いておられます。「あなたの思い煩いをわたしにゆだねなさい。わたしが心配します。」

このみことばは、人生には困難はないと約束するものではありませんが、私たちがひとりで運ばなくてもよいことを思い出させてくれます。大きな苦しみだろうが、小さな心配だろうが、神様は私たちが直面するすべての重荷について親身になって心配してくださいます。

今日、どんな重いものを運んでいますか。その重荷を神様の御手のうちに預けると思い描きましょう。神様があなたとともに歩み励ましてくださると信じましょう。あなたの理解をはるかに越えるほど、神様はあなたのことを心配してくださいます。

讃美歌 312 いつくしみふかき

祈り 愛するお父様、私のことを心配して下さってありがとうございます。私の重荷をどんなことでもおできになるあなたの御手のうちに明け渡し、あなたの愛を信ずることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。



イリノイ州 シカゴ / キャロリン・ライト